



Business Report



第149期中間報告書 平成24年4月1日から平成24年9月30日まで

名古屋鉄道株式会社

ごあいさつ

平素は、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当上半期のわが国経済は、東日本大震災の復興需要等を背景に、緩やかな持ち直しが見られたものの、欧州債務危機問題の再燃による世界的な金融不安の拡大や長期化する円高、また、夏場には電力供給への不安もあり、景気の先行きに対する不透明感は払拭されず、不確実性の高い状況で推移しました。

このような状況のもと、当社グループは積極的な営業活動と経営の合理化に努め、当上半期の連結営業収益は前年同期に比べ2.8%増の2,859億4千2百万円、営業利益は30.2%増の140億3千1百万円、経常利益は48.5%増の126億1千9百万円となり、四半期純利益は439.1%増の65億9千4百万円となりました。また、当社単体の営業収益は0.8%増の498億2千5百万円、営業利益は8.5%増の70億7千6百万円、経常利益は16.7%増の70億2千6百万円となり、四半期純利益は110.6%増の34億2千7百万円となりました。

以上の結果、当上半期の業績は前年同期に比べ改善いたしました。依然として当社を取り巻く経営環境は厳しいものと考えられますので、中間配当につきましては、誠に遺憾ではございますが、見送らせていただくことといたしました。株主の皆様には深くお詫び申し上げますとともに、何卒事情ご賢察のうえ、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

下半期におきましても、「名鉄グループ中期経営計画～PLAN120～」に掲げる重点テーマ「名駅再開発に向けた成長戦略の構築」、「グループの核である交通事業の強化」、「沿線を中心とした地域活性化の推進」及び「グループ経営の強化」に、引き続き取り組んでまいります。

当社グループは、グループ一丸となってこの「PLAN120」を着実に推進するとともに、今後も永く社会に貢献し、地域から愛される企業集団として、更なる業績の向上に全力を傾注してまいりますので、何卒変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役会長
河野 英雄



代表取締役社長
山本 亜土

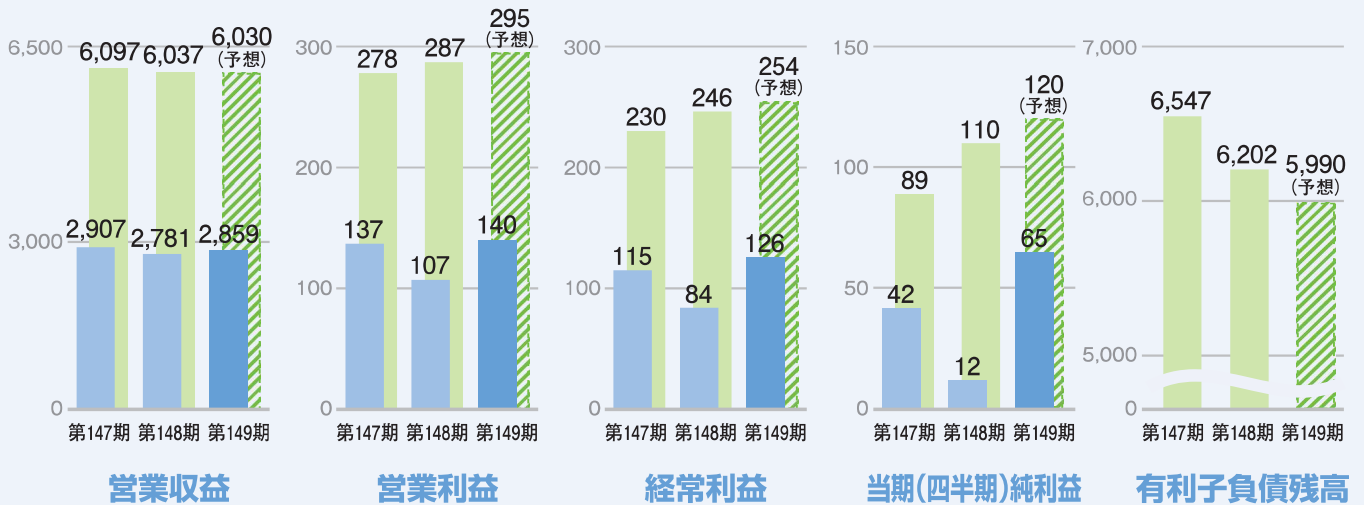
平成24年12月

平成25年3月期 第2四半期連結決算の概要

前年の東日本大震災の影響から持ち直し、当上半期は増収・増益となりました。

主要連結経営指標の推移

■ 第2四半期(累計) ■ 期末 (単位: 億円)
 (注) 記載金額は、億円未満を切り捨てて表示しております。



平成25年3月期の見通し

通期の業況については、震災の影響からの緩やかな回復が見られた一方で、依然として景気の先行きに対する不安が根強く残っております。当社グループにおいては、個人消費の低迷により、流通事業やレジャー・サービス事業のマイナス要因が懸念されるものの、不動産事業が好調に推移する見通しであることや、諸経費の削減努力により、全社的には増益を見込んでいます。以上の見通しを踏まえ、通期の連結業績予想については、営業収益は6,030億円（前期比0.1%減）、営業利益は295億円（前期比2.6%増）、経常利益は254億円（前期比3.2%増）、当期純利益は120億円（前期比9.1%増）としております。また、平成25年3月期末の連結有利子負債残高については、5,990億円（前期比212億7千3百万円減）を見込んでいます。

営業収益 **6,030**億円 前期比 0.1%減

営業利益 **295**億円 前期比 2.6%増

経常利益 **254**億円 前期比 3.2%増

当期純利益 **120**億円 前期比 9.1%増

※上記の予想は、当社が現在入手可能な情報に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

名鉄グループの事業概況



交通事業

営業収益	790億57百万円 (前年同期比 1.4%増)
営業利益	80億80百万円 (前年同期比 34.0%増)

鉄軌道事業では、当社は、4月にICカード「manaca」と東海旅客鉄道(株)の「TOICA」との乗車券機能の相互利用を開始したほか、平成25年春に実施予定の東日本旅客鉄道(株)の「Suica」をはじめとした全国の10の交通系ICカードによる相互利用に向けて、関連機器やシステム等の改修を進めました。また、名古屋本線神宮前駅東側に建設した、制震構造の「鉄道センタービル」に鉄道運行の中核部門を移転させるとともに、本社部門と現場部門との一体的な体制を築くことで、日々の安定的な列車運行の実現や、緊急時の迅速な意思決定と情報伝達を可能とし、事故・災害時にも強い運行管理体制の構築を図りました。このほか、瀬戸線において車両の更新を進め、通勤型車両16両を新造したほか、旅客安全・運転保安に関わる投資を積極的に行い、河和線知多半田駅及び河和駅にATSを設置するなど、保安装置の増設や更新を進めました。営業施策面では、好評の沿線都市観光キャンペーンを積極的に展開したほか、9月には、駅時刻表やダイヤ検索のほか駅周辺情報の取得やmanacaの残額照会などを行うことができるスマートフォンアプリ「名鉄Touch」のサービスを開始し、利便性の向上を図りました。

バス事業では、名鉄バス(株)は、愛知県岡崎市において新路線「真伝循環線」の運行を開始するなど新たな需要喚起に努めるとともに、名古屋市営バス野並営業所の受託運行を開始したほか、名古屋駅地区及び栄南大津地区に停留所を新設し、利便性の向上を図りました。また、高速バス事業においては、「名古屋・新宿線」と「名古屋・松本線」の車両に快適で上質な車内空間の提供を目的に「Sクラスシート」の導入を進めるなど、サービスの向上に努めました。

タクシー事業では、営業拠点の見直しやグループの統廃合などにより、経営の効率化を図りました。

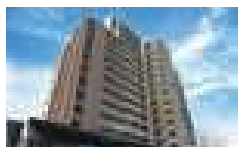


運送事業

営業収益	672億94百万円 (前年同期比 0.6%増)
営業利益	25億10百万円 (前年同期比 2.9%増)

トラック事業では、名鉄運輸(株)グループを中心にグループネットワーク強化を推進し、配送網の整備や配送エリアの見直し、輸送品質の向上にも取り組み、収益性の向上及び事業の効率化に努めました。

海運事業では、太平洋フェリー(株)は、前年同期に震災の影響により休止のあった一般旅客営業が回復し、旅客輸送が大きく増加したほか、往復パック商品の航路の拡大や早割利用の予約内容の変更を可能にするなどの利用促進策を積極的に行い、収入の回復を図りました。



不動産事業

営業収益	346億60百万円 (前年同期比 16.9%増)
営業利益	25億円 (前年同期比 0.3%増)

不動産賃貸業では、当社は、名鉄バスターミナルビルの貸室化工事を進め、新テナントを誘致することにより、資産の有効活用を図りました。また、(株)中部経済新聞社などと共に建設を進めてきた名古屋駅前のオフィスビル「名古屋クロスコートタワー」が、7月に供用を開始しました。

不動産分譲業では、当社は、引続き分譲団地「名鉄 陽なたの丘」の販売を進め、9月には新街区となる「蒼空の街」の販売を開始しました。また名鉄不動産(株)は、愛知県知多市新舞子において分譲住宅の開発を進め、「新舞子オーシャンコースト」の販売を7月に開始しました。



レジャー・サービス事業

営業収益	263億12百万円 (前年同期比 0.2%増)
営業利益	3億39百万円 (前年同期比 -)

ホテル業では、大口団体宿泊の獲得や前年同期の震災による影響から持ち直し、多くのホテルで増収となったものの、一部子会社を売却したことにより減収となりました。

観光施設の経営では、(株)名鉄インプレスは、「野外民族博物館リトルワールド」において、同館初のイスラム圏の大規模家屋となる「トルコ イスタンブールの街」の復元工事に着工したほか、館内店舗のリニューアルなどにより需要喚起に努めましたが、事業全体では、ハイウェイレストランにおいて、前年同期にはE T C休日割引終了に伴う駆け込み需要があったこともあり、利用者数が減少するなど、減収となりました。

旅行業では、インバウンドビジネスを推進するため「昇龍道」を機軸にした新たな観光ルートの構築とセールスを、名鉄グループを挙げて推進するなど、旅客誘致を図りました。また、震災による旅行のキャンセルや出控えの影響を受けた前年同期と比べ、国内・海外旅行の取扱高が共に増加しました。



流通事業

営業収益	681億22百万円 (前年同期比 0.5%増)
営業利益	1億95百万円 (前年同期比 -)

百貨店業では、(株)名鉄百貨店は、法人外商等の店頭外部部門の営業を積極的に推進したものの、全国の百貨店の動向を受けた夏期クリアランスセール等の分散開催による集客効果の低下や、消費者の節約・低価格志向が続いたこともあり、減収となりました。

その他物品販売では、名鉄産業(株)をはじめとする石油製品販売においては、販売単価の下落があったため、前年同期比で減収となりました。一方、(株)名鉄アオトの輸入車販売においては、店舗数の拡大に伴い販売台数が増加するなど好調に推移しました。



その他の事業

営業収益	315億75百万円 (前年同期比 5.3%増)
営業利益	1億18百万円 (前年同期比 74.6%減)

その他の事業では、設備工事や保守整備事業が増収となったほか、震災の影響からの国際線利用客の回復に伴い、名古屋エアケータリング(株)では機内食調製が好調に推移しましたが、リース業での原価の増加などもあり、事業全体では減益となりました。

平成25年3月期 第2四半期連結決算の要旨

■ 四半期連結貸借対照表の要旨

(平成24年9月30日現在)

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	165,522	流動負債	378,065
現金及び預金	10,107	支払手形及び買掛金	54,584
受取手形及び売掛金	51,203	短期借入金	198,762
分譲土地建物	64,854	その他	124,718
その他のたな卸資産	12,510	固定負債	513,229
その他	26,847	社債	120,000
固定資産	946,087	長期借入金	262,408
有形固定資産	835,236	再評価に係る繰延税金負債	64,396
建物及び構築物	327,719	退職給付引当金	29,122
土地	370,896	その他	37,302
その他	136,619	負債合計	891,295
無形固定資産	12,424	(純資産の部)	
投資その他の資産	98,426	株主資本	139,016
投資有価証券	66,311	資本金	84,185
繰延税金資産	16,554	資本剰余金	18,428
その他	15,560	利益剰余金	37,156
		自己株式	△ 754
		その他の包括利益累計額	64,217
		その他有価証券評価差額金	1,650
		繰延ヘッジ損益	△ 0
		土地再評価差額金	62,628
		為替換算調整勘定	△ 61
		少数株主持分	17,080
		純資産合計	220,314
資産合計	1,111,609	負債純資産合計	1,111,609

■ 四半期連結損益計算書の要旨

(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)

(単位：百万円)

科 目	金 額
営業収益	285,942
営業費	271,911
営業利益	14,031
営業外収益	2,806
営業外費用	4,219
経常利益	12,619
特別利益	1,045
特別損失	2,954
税金等調整前四半期純利益	10,709
法人税、住民税及び事業税	3,275
法人税等調整額	398
少数株主損益調整前四半期純利益	7,035
少数株主利益	441
四半期純利益	6,594

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)

(単位：百万円)

科 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	28,391
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 16,016
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 12,065
現金及び現金同等物に係る換算差額	1
現金及び現金同等物の増加額	310
現金及び現金同等物の期首残高	9,030
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,341

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

平成25年3月期 第2四半期個別決算の要旨

■ 四半期貸借対照表の要旨

(平成24年9月30日現在)

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	25,985	流動負債	185,393
現金及び預金	2,251	短期借入金	103,840
未収金	2,947	未払金	6,774
分譲土地建物	14,335	前受金	47,515
その他	6,451	その他	27,262
固定資産	749,871	固定負債	420,089
鉄軌道事業固定資産	395,765	社債	120,000
開発事業固定資産	156,904	長期借入金	223,318
各事業関連固定資産	5,791	再評価に係る繰延税金負債	57,787
建設仮勘定	52,099	その他	18,983
投資その他の資産	139,311	負債合計	605,482
関係会社株式	98,121	(純資産の部)	
投資有価証券	34,291	株主資本	108,470
その他	6,898	資本金	84,185
		資本剰余金	16,673
		利益剰余金	8,347
		自己株式	△ 736
		評価・換算差額等	61,903
		その他有価証券評価差額金	2,257
		土地再評価差額金	59,645
		純資産合計	170,374
資産合計	775,857	負債純資産合計	775,857

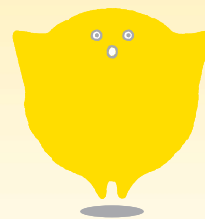
■ 四半期損益計算書の要旨

(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで) (単位：百万円)

科 目	金 額
営業収益	49,825
営業費	42,749
営業利益	7,076
営業外収益	3,299
営業外費用	3,349
経常利益	7,026
特別利益	376
特別損失	2,655
税引前四半期純利益	4,747
法人税、住民税及び事業税	368
法人税等調整額	951
四半期純利益	3,427

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

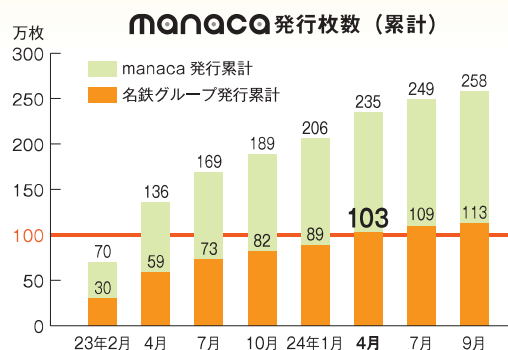
ますます広がる manacaの可能性



名鉄グループが発売するmanacaの発行枚数が100万枚を突破！

当社・名鉄バス・豊橋鉄道が発売するICカード「manaca」の発行枚数が4月10日に100万枚を突破しました。また、名古屋市交通局などが発売するmanacaを合わせた発行枚数は、9月末日現在で約258万枚となっています。

このように、manacaは多くのお客さまに受け入れられ、着実に地域に浸透してまいりました。今後は、来年春に全国の10の交通系ICカードによる相互利用の実施を予定しています。



一体型 manaca を導入

入退室管理や出欠管理、プリント認証など、お客さまのニーズに合わせた様々な機能を付与したmanacaを、学校や企業向けに提供しています。4月には、東海地方で初めて、学生証とmanacaが一体となった「学生証一体型manaca」を導入いただきました。



一体型manaca（見本）

manaca × TOICA 相互利用がスタート

4月21日から、TOICA（JR東海）との乗車券機能相互利用がスタートしました。manacaエリアのほか、TOICAエリアの電車でも、お手持ちのmanaca1枚で利用が可能になりました。



記念manaca

manaca でポイントがたまる 名鉄たまルンの会員、加盟店増加中

名鉄グループが発売するmanacaの電子マネーポイントサービス「名鉄たまルン」では、新規会員獲得と積極的な加盟店の開拓を行う一方、サービス向上を目的に、様々なキャンペーンを実施しています。会員数は17万人を突破し、加盟店数も3,600店を突破しました。（平成24年9月末日現在）

名鉄たまルンのキャンペーンやお得な情報、加盟店情報は名鉄たまルンホームページをご覧ください。
<http://manaca.meitetsu.co.jp/tamarun/index.html>





犬山線開通100周年

1912年(大正元年)8月6日に開通した
犬山線(下小田井~犬山駅間)が、100周年を迎えました。

犬山線の歴史ダイジェスト

1914

3部部線(一宮・犬山・津島線)
開通祝賀式を岩倉・犬山で行う



1927

昭和天皇 犬山へ行幸
(押切町~犬山橋間をご乗車)



1932

高山線乗り入れ
柳橋~下呂間に直通列車運転開始



1962

モノレール線開通



1964

各務原線と直通運転開始



1993

犬山線と地下鉄鶴舞線との
相互直通運転開始



2000

犬山橋を鉄道専用化



2007

柏森駅新駅舎完成



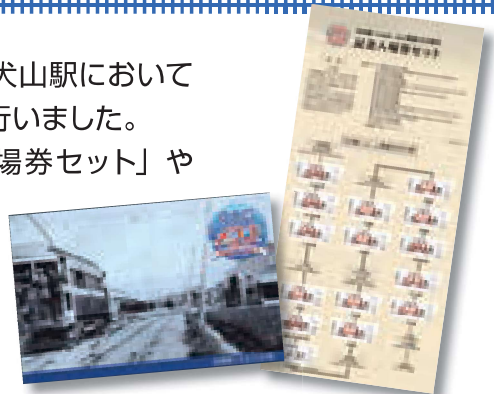
100周年記念イベントを開催しました



記念発車式

開通100周年を迎えた8月6日に、犬山駅において「犬山線開通100周年記念発車式」を行いました。

また、「犬山線開通100周年記念入場券セット」や記念グッズを発売したほか、「犬山線の今昔写真展」を実施し、地域の皆様が犬山線の歴史に触れていただける各種イベントを行いました。



Topics 3

名古屋クロスコートタワーがオープン

大きく変貌し続ける名古屋駅地区の象徴として、当社が共同所有する「名古屋クロスコートタワー」が、7月1日に供用を開始しました。

ビルの内部は、木質の素材を用いて暖かい雰囲気演出するエントランスホールや、落ち着いた色調で高級感のあるオフィスなど、上質な空間が広がっています。

名古屋駅や駅前の地下街と地下道でつながる利便性に加え、地下1階には飲食店が集まったフロア「チカマチラウンジ」もあり、より居心地のよいオフィス環境を創り出しています。



チカマチラウンジ

「名駅近くのちょっとウラ、私のいきつけ」というコンセプトのもと、落ち着いた雰囲気の専門店を集めたゾーン「スペシャルティダイニング」と、活気ある小規模専門店を集めたゾーン「スペシャルティコート」で構成された様々な飲食店舗が楽しめます。



Topics 4

名鉄陽なたの丘に「蒼空の街」が誕生



当社と名鉄不動産では、愛知県知多郡阿久比町の大規模分譲団地「名鉄陽なたの丘」が好評をいただいていることから、9月15日、新街区「蒼空の街」の販売を開始しました。

「蒼空の街」では、既存区画と同じく土地の広さ、ゆったり感、日当たりの良さを実現できるように造成を行いました。購入者からの要望が多いスーパーマーケットも建設予定で、より暮らしやすい街になっていきます。

開発コンセプト

人がつながる場所

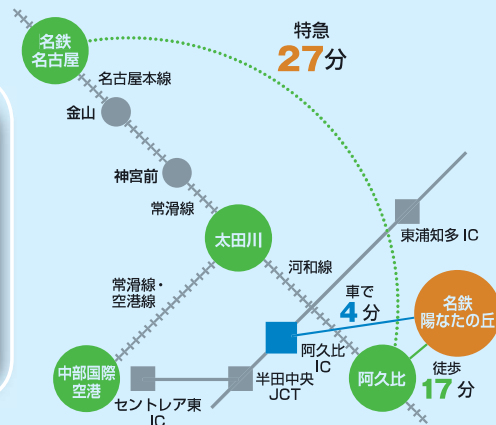
- 約319,000㎡の大規模プロジェクト
- 楽しく遊べる「ふれあいの森」隣接
- 敷地内3カ所の「陽なたの丘公園」

豊かに育つ環境

- 平均60坪超、全邸が暖かな陽差しに包まれる区画配置
- 緑豊かな街づくり
- 蛸が飛び交う阿久比町

家族を守る街

- 365日巡回パトロール
- 録画機能付き監視カメラ
- 防災設備を備えた公園



会社情報

(平成24年9月30日現在)

会社概要

設立年月日	大正10年6月13日
本店所在地	名古屋市中区名駅一丁目2番4号
資本金	84,185,525,064円
発行済株式総数	881,584,825株
株主数	90,073名
事業内容	鉄軌道事業、開発事業
従業員数	5,041名
ホームページアドレス	http://www.meitetsu.co.jp/

役員

河野英雄	代表取締役会長	
山本亜土	代表取締役社長	
松林孝美	代表取締役副社長	〔グループ統括本部長、グループ監査部・東京支社・秘書広報部・総務部・財務部・人事部・名鉄病院総括〔不動産事業本部長〕〕
福嶋敏雄	代表取締役副社長	
横井孝範	専務取締役	〔鉄道事業本部長〕
安藤隆司	常務取締役	〔人事部長〕
武藤雅之	常務取締役	〔病院事務部長〕
内田互	常務取締役	〔財務部長〕
高木英樹	常務取締役	〔鉄道事業本部副本部長〕 〔兼計画部長〕
柴田浩	取締役	〔総務部長、東京支社担当〕
拝郷寿夫	取締役	〔事業企画部長、グループ監査部担当〕
岩城史憲	取締役	〔鉄道事業本部副本部長〕 〔兼営業部長〕
高崎裕樹	取締役	〔不動産事業本部副本部長〕 〔兼賃貸事業部長〕
鈴木豊信	取締役	〔秘書広報部長〕
鈴木清美	取締役	〔鉄道事業本部副本部長〕 〔兼土木部長〕
岡部弘	社外取締役	
河原英穂	常任監査役(常勤)	
小笠原敏彦	常任監査役(常勤)	
岡谷篤一	社外監査役	
川口文夫	社外監査役	
佐々和夫	社外監査役	

株主メモ

事業年度

4月1日から翌年3月31日まで

剰余金の配当の基準日

期末配当の基準日は毎年3月31日です。また、中間配当を行う場合は、毎年9月30日を基準日とします。

*当期(第149期)の中間配当につきましては、見送らせていただきました。

定時株主総会の基準日

定時株主総会の議決権の基準日は、毎年3月31日です。

公告方法

電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、中日新聞に掲載して行います。

*電子公告掲載ホームページアドレス
<http://www.meitetsu.co.jp/profile/koukoku/>

株主名簿管理人

三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先・電話照会先

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話 ☎0120-782-031
(受付時間：平日9:00～17:00)

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設された株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

株主ご優待制度のご案内



当社の株主ご優待制度には、3,000 株以上の株主様に、ご所有株数に応じて半年毎に贈呈する株主優待乗車証と、1,000 株以上の株主様に、年 1 回一律で贈呈する株主ご優待券があります。

1 株主優待乗車証 優待基準



権利確定日	贈呈時期	有効期限
3月31日	6月上旬	12月15日
9月30日	12月上旬	翌年6月15日

ご所有株数	株主優待乗車証の種類	贈呈枚数(半年)	
3,000 株以上 5,000 株未満	電車線片道乗車証〔普通乗車券方式〕 ・名鉄電車線で、1 枚につき 1 名様 1 回限りご利用いただけます。 ・詳細は当社ホームページをご覧ください。	2 枚	
5,000 株以上 10,000 株未満		6 枚	
10,000 株以上 15,000 株未満		12 枚	
15,000 株以上 20,000 株未満		18 枚	
20,000 株以上 25,000 株未満		24 枚	
25,000 株以上 30,000 株未満		30 枚	
30,000 株以上 35,000 株未満		36 枚	
35,000 株以上 40,000 株未満		42 枚	
40,000 株以上 100,000 株未満		電車・名鉄バス全線乗車証〔パス券方式〕 ・ご持参の 1 名様でご利用いただけます。 ・名鉄バス券のバス路線には、高速バス路線などご乗車にならない路線があります。 ・各自治体のコミュニティバス路線などには、ご乗車になれません。 ・ご希望の株主様は、ICカード乗車券「manaca」への移し替えが可能です。 ・詳細は当社ホームページをご覧ください。	1 枚
100,000 株以上 500,000 株未満			2 枚
500,000 株以上 1,000,000 株未満	5 枚		
1,000,000 株以上	10 枚		

2 株主ご優待券 優待基準



権利確定日	贈呈時期	有効期限
3月31日	6月下旬	翌年6月30日

ご所有株数	株主ご優待券の内容	贈呈枚数(年)
1,000 株以上一律	【電車線株主招待乗車証】 名鉄電車線で、1 枚につき 1 名様 1 回限りご利用いただけます。 	2 枚
	【リトルワールド、日本モンキーパーク、南知多ビーチランド&南知多おもちゃ王国の共通ご招待券】 1 枚で 1 名様 1 施設でご利用いただけます。 	6 枚
	【名鉄グループホテル・旅館宿泊優待割引券：20%割引、名鉄インは 10%割引】 当社指定の名鉄グループホテル・旅館の 1 泊に、1 枚で同時に 4 名様までご利用いただけます。 	4 枚
	【名鉄観光サービス募集型企画旅行商品優待割引券：4～5%割引】 パノラマライヤやジャンボマーチなど、名鉄観光サービス㈱の指定旅行商品を同社の店頭で購入する場合に限り。1 枚で同時に 2 名様までご利用いただけます。 	2 枚
	【名鉄百貨店の買物優待券：10%割引】 食料品や特別奉仕品、一部ショップなど、割引除外の商品・店舗があります。100円未満の金額についての割引はございません。 	18 枚

